

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果

京都大原学院

5月27日に本校6年生9年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、結果がまとまりました。本調査は、国語・算数／数学の2教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されています。生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

総合結果（国語・算数／数学）

全体的にとっても良好です。国語、算数／数学のいずれについても、平均正答率は全国および京都府の平均を上回っています。

また、2教科ともに日ごろからの学習の成果を発揮し、最後まで、粘り強く考えて問題に取り組む姿勢がうかがえました。

国語科より

6年生の平均正答率は全国平均をかなり上回っています。（全国平均64.7%）

ほとんどの問題が正答できていますが、誤答があった問題は、

- 1三 「津田梅子についてのスピーチ練習で、[教師になった卒業生の勤務校のある場所]の図を見て、「卒業生は日本の様々な地域で働きました」が正解ですが、「教師になった卒業生の数は増えました」という答えがありました。

一つの図からは増えた根拠は見つけられないので、より適当な答えを選ぶようにしましょう。

- 3三(2) 「遊び終わったらすぐに遊具をかたづけることがむずかしい場合もあるでしょう」の「すぐに」が詳しく説明している言葉を選ぶ問題です。「かたづける」が正解ですが、「遊具を」という答えがありました。

漢字、文法の問題はこつこつと取り組むことで、知識・技能の力をつけていきましょう。

9年生の平均正答率は全国平均を上回っています。（全国平均64.6%）誤答傾向の問題は、

- 2一 「生徒の意見文の下書きを見て、書き直しをした2か所の理由をそれぞれ選ぶ問題」で、1か所しか選んでいない学院生が半分いました。

- 3四 「吾輩は猫である」の一部を読んで、吾輩が近所の猫の黒をどのように評価し、どのように接しているかを2つの条件にしたがって答える問題」

条件①「吾輩が黒を評価している部分を引用した上で、接し方を書くこと」

条件②「吾輩の接し方について、あなたの考え方を書くこと」

黒を評価している部分の引用ができていない学院生が半分いました。

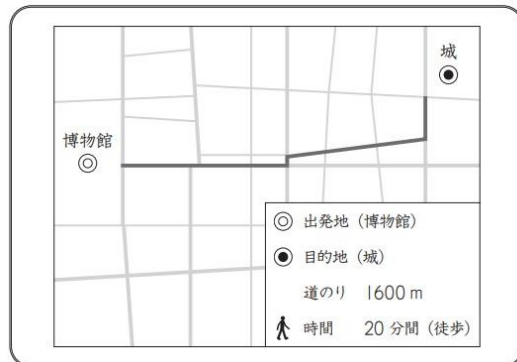
条件にしたがって書く問題は、フォーマットにしたがって書く練習をすることでできるようにしましょう。



算数科より

6年生の平均正答率は全国平均をかなり上回っています。(全国平均70.2%) 誤答の問題は、

- 1 (3) インターネットで調べた道のりと移動時間、実際に歩いた道のりと移動時間の表、道のり÷時間を計算した結果から分かったことを選ぶ問題です。



道のりと時間

	道のり (m)	時間 (分)
ア インターネット	1600	20
イ たけるさんたち	500	7

ア インターネット $1600 \div 20 = 80$

イ たけるさんたち $500 \div 7 = 71.4 \dots$

「80mと約71mなのでインターネットの方が速い」が正解ですが、「1mにかかる時間が80分と約71分なのでインターネットの方が速い」という答えがありました。

道のりと時間から速さを求めるわり算と商の意味をしっかりと覚えておきましょう。

- 3 (3) 図書委員がとった読書アンケートの結果について話し合っています。

[質問1「読書は好きですか」 はい…171人, いいえ…18人]

[質問2「9月に5冊以上借りましたか」 はい…61人, いいえ…128人]

この結果から、「読書が好きで、5冊以上借りていない人は114人いました。」

114は表の①～⑧のどこに当てはまるかを問う問題です。②が正解ですが、④という答えがありました。

普段からデータの分類整理をして表を読めるようにしましょう。

図書アンケートの2つの質問の結果 (人)

		9月に図書室で 5冊以上借りましたか		合計
		はい	いいえ	
読書が 好きですか	はい	①	②	③
	いいえ	④	⑤	⑥
合計		⑦	⑧	189

数学科より

- 9年生の平均正答率は全国平均を上回っています。(全国平均 57.2%) 誤答傾向の問題は
4 次の表は1mの棒を地面に立てたときにできる影の長さを、午前8時から経過した時間にそって表したものです。

午前8時から経過した時間と影の長さ

経過した時間(時間)	0	1	2	3	4	5	6	7	8
影の長さ(cm)	190	124	96	80	79	96	130	193	350

このとき「経過した時間を決めると、それに伴って影の

長さがただ1つ決まるという関係があります」という文から[(①)は(②)の関数である。]の①, ②に当てはまる言葉を書く問題です。

正答の①「影の長さ」、②「経過した時間」と答えた学院生は半分でした。

6(3) 自然数を6つずつ並べた表の4つの数を囲んだときの和の

計算を $n + (n+1) + (n+6) + (n+7)$ としました。この式から4つの数の和は $2n+7$ の2倍であることがわかります。

$2n+7$ は、 $n + (n+7)$ と変更できます。このことから4つの数の和は、どの位置にある2つに数の和の2倍かを「～は…である」という形で書く問題です。

正答の「四角で囲んだ4つの数の和は左上と右下の数の和の2倍である」と答えた学院生は半分でした。

計算は難しくありませんが、答えにたどり着くまでの数学的説明の文章が長いので落ち着いて問題文を読んで解くようにしましょう。

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30

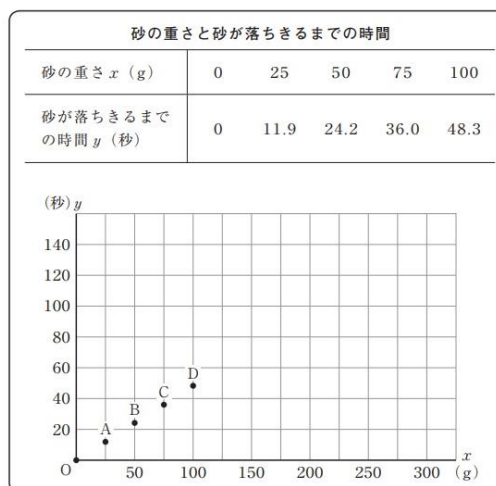
n	$n+1$
$n+6$	$n+7$

7(2) ペットボトルで砂時計を作るため、砂の重さと落ちる時間を測った表とグラフから、2分を測るために必要な砂の重さを求める方法を説明しなさいという問題です。

正答例は、①原点Oを通る直線グラフをかき、y座標(秒)が120のときのx座標(g)を読む。

② yとxを比例の式で表し、 $y=120$ を代入して、xの値を求める。

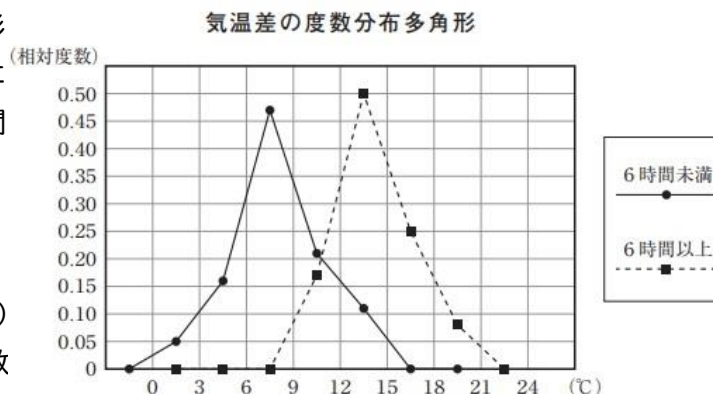
学院生の正答率は4割でした。記述の問題は思考をしたあとに、文字で表現することも大切です。日常生活における問題を数学的に解決する習慣をつけましょう。



8(3) 「キャンプ場に行くために気温差の度数分布表をもとに度数分布多角形(度数折れ線)をつくりました。日照時間6時間未満と6時間以上の度数分布多角形の特徴を比較して説明しなさい」という問題です。

正答例は「6時間未満の多角形よりも6時間以上の多角形が右にある。」「6時間以上の日は6時間未満の日より気温差が大きい。」です。

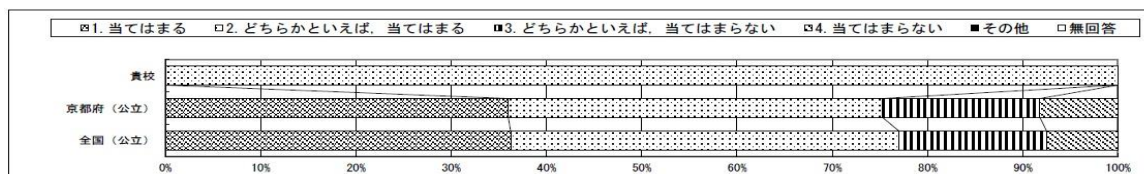
学院生の正解者はいませんでした。度数分布多角形(度数折れ線)のグラフの読取りに慣れ、相対度数の必要性を実感できるようにしましょう。



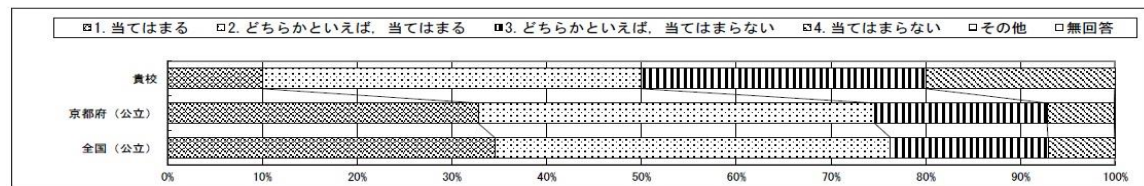
児童・生徒質問紙調査より

「自分にはよいところがある」の質問に「当てはまる」と答えた6年生の割合は0%（全国36.2%），9年生は10%（全国34.5%）でした。学校教育目標「大原のゆとりある心を自信をもって伝えられる子に！」をめざし，学院生ひとりひとりが，自分のよいところを見つけて，自信をもって伝えていけるようにしましょう。

質問番号	質問事項										
(6)	自分には、よいところがあると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	0.0	100.0	0.0	0.0						0.0	0.0
京都府（公立）	36.0	39.3	16.5	8.2						0.0	0.0
全国（公立）	36.2	40.7	15.5	7.5						0.0	0.0

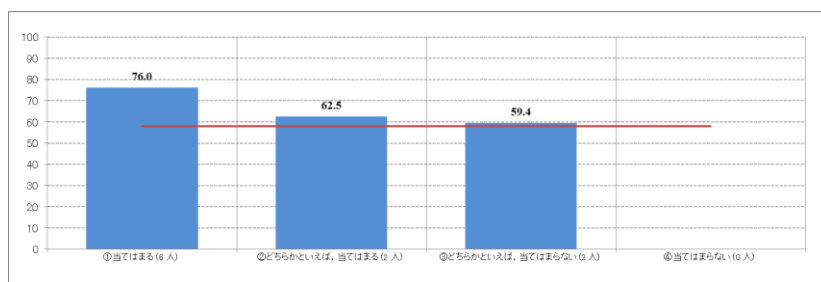


質問番号	質問事項										
(6)	自分には、よいところがあると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	10.0	40.0	30.0	20.0						0.0	0.0
京都府（公立）	32.8	41.8	18.2	7.1						0.0	0.1
全国（公立）	34.5	41.7	16.6	7.1						0.0	0.0



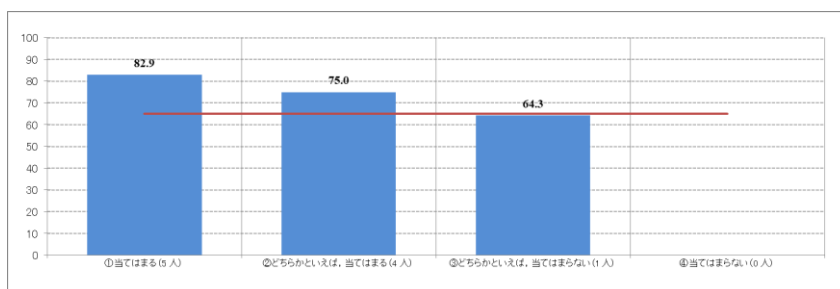
正答率と生徒質問紙のクロス集計より（縦軸が正答率，横軸が生徒質問紙の項目）

数学の正答率 と 「国語で目的に応じて文章を読んでいる」 のクロス集計



「国語で目的に応じて文章を読んでいる」学院生の方が数学の正答率が高かったです。

国語の正答率 と 「自分と違う意見について考えるのは楽しい」 のクロス集計



「自分と違う意見について考えるのが楽しい」学院生の方が国語の正答率が高かったです。